

FISHMAN[®]

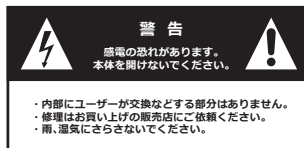
USER GUIDE
LOUDBOX MINI CHARGE™



取扱説明書のこのマークは、操作上の注意や保守(修理)方法についての、重要な記述があることを示します。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険電圧」が存在することを意味し、感電の恐れがあることを警告しています。



安全上のご注意

安全にご使用いただくために、使用前に以下の説明書を読み、注意書きに従ってください。

1. 使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
2. この取扱説明書を大切に保管してください。
3. すべての注意書きをよくお読みください
4. すべての指示に従ってください。
5. 本製品に水分を近づけないでください。
6. お手入れは、乾いた布で拭いてください。
7. 換気口を塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. 暖房器具やその他の熱源(アンプを含む)の周辺に設置しないでください。
9. 有極プラグまたは接地タイプのプラグは正しくご使用ください。
10. 電源コードが踏まれたり何かに挟まれたりしないようご注意ください。特にプラグとコンセントの接続部分、装置とコードの接続部分には十分な注意を払ってください。
11. 製品は、主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。
12. 製造元が推奨する付属部品/アクセサリ以外のものは使用しないでください。
13. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、製造元が推奨するものか製品に付属のもの以外は使用しないでください。カートで製品を運搬する際は、けがの原因となりますので、転倒しないようご注意ください。
14. 雷害の発生時や長時間使用しない場合には電源コードを抜いてください。
15. 製品の修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。電源コードまたはプラグが破損したり、製品の上に液体をこぼしたり、内部に何かを落としたり、製品が雨や湿気にさらされた時、乱暴な取り扱いをした時、製品が正常に作動しない時は修理が必要です。
16. 水気のある場所には、製品を置かないでください。液体を入れた容器(飲み物の容器や花瓶など)を製品の上に置かないでください。
17. 使用周囲温度は0℃～35℃としています。
18. 警告：バッテリーは、直射日光や火など過度の熱にさらさないでください。
19. 注意：バッテリーを正しく交換しないと、爆発の危険があります。交換するには、認定のサービスセンターでフィッシュマンからリリースしているバッテリーキットをご使用ください
20. 製品には、点灯したろうそくなどの裸火を置かないでください。
21. 製品を本棚など家具の中に設置せず、通気性の良い開けた場所でご使用ください。



電源を切るには、ACインレットまたは電源スイッチを使用します。

Copyright © 2017 FISHMAN TRANSDUCERS, INC.

無断複写・転載を禁じます。本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても、FISHMAN TRANSDUCERS, INC. から事前に文書による許諾を得ることなく複写してはなりません。

重要

ラウドボックスミニチャージは、楽器の音をきわめて大きな音量で、クリーンに鳴らすことができます。音に対する耳の防護をせずに長時間にわたり繰り返し高い音圧レベル (SPL) にさらされることは、聴力低下の原因になります。米国労働安全衛生局 (OSHA) は、SPL が高い環境で作業する人のためのガイドラインおよび騒音暴露の許容値を定めています。

騒音暴露の許容値

一日当たりの時間 (h)	音圧レベル (dBA)
8	90
6	92
4	95
3	97
2	100
1 1/2	102
1	105
1/2	110
1/4 or less	115

米国連邦通信委員会規則の順守

この製品は試験を受けて米国連邦通信委員会の規則、パート 15 に定められたクラス B デジタル装置の制限に準拠しています。これらの制限は、住居内の設置において有害な干渉からの適切な保護のために設計されています。

この製品は、高周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。

この製品がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合 (製品の電源を入れ直して判断できます)、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きを変えたり、移動したりする。
- 機器と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談してください。FISHMAN TRANSDUCERS によって明示的に承認されていない変更や変更は、連邦通信委員会の規則に基づいて本装置を操作する権限を無効にすることがあります。

M/N: 494-000-582

FCC ID: RMU-494000582

IC: 10812A-494000582

Bluetooth®

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、BluetoothSIG, Inc. が所有する登録商標であり、Fishman Transducers はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

電波に関するご注意

製品を使用する周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の機内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意くださいご使用ください。

1. この製品は、ラジエータ(アンテナ)とユーザーまたは近くの人々の身体との間に、常に最小でも 20cm の距離を空けるよう設置し、操作する必要があります。
2. この製品のトランスミッタを、他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、他のアンテナやトランスミッタと組み合わせて使用しないでください。

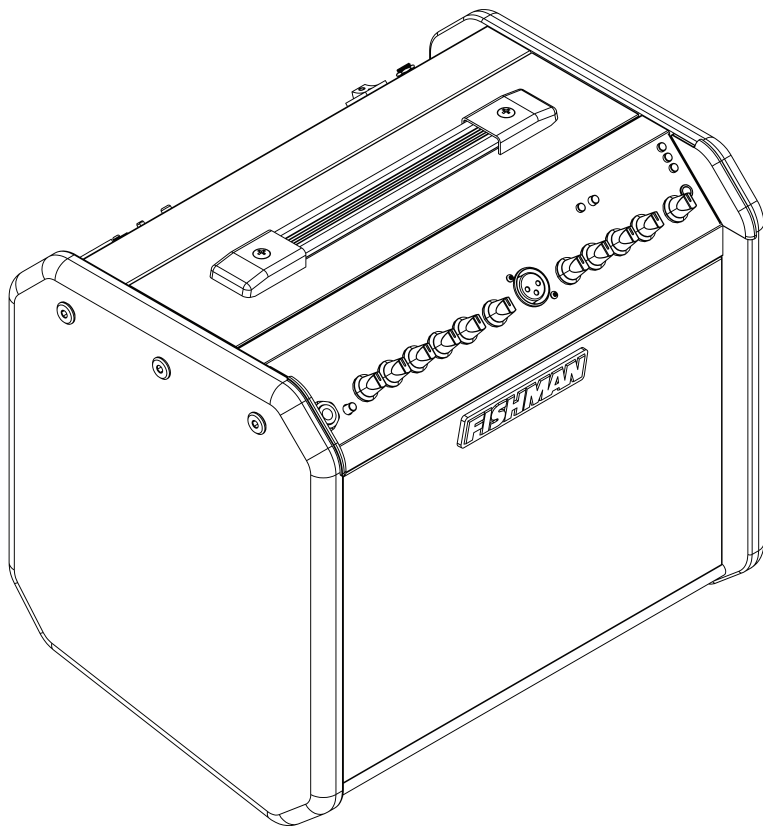
すべての Bluetooth 機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。一部の国では、Bluetooth 対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth 対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

ラウドボックスミニチャージを使用する前に、以下を注意深くお読みください：
重要な安全上の注意（ページ1）
はじめに（ページ5）

Welcome

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
製品の特長を十分に発揮していただくために、以下の取り扱い説明をご一読の上ご使用ください。

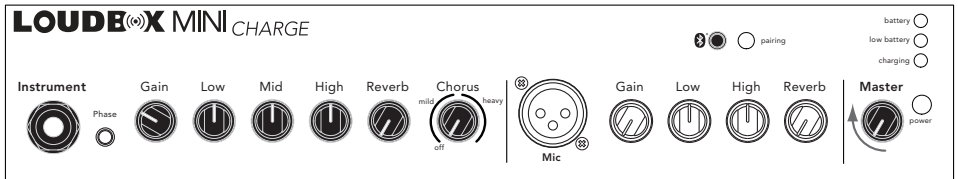


Getting Started

ラウドボックスミニチャージは、アコースティック楽器のサウンドとボーカルまたは伴奏といった様々なサウンドを忠実に再現するために設計された、携行可能なバッテリー駆動のアンプです。また Bluetooth® ワイヤレス接続の機能を追加することで、簡単かつ配線を少なくあなたの演奏にバックイングトラックやその他の伴奏を加えることが可能です。

基本的なセットアップのヒントをご紹介します。ラウドボックスミニチャージを安全にご使用するには、マニュアル全体における 2 ページ目の「安全上のご注意」をご覧ください。

1. 電源スイッチ（リアパネルの電源コードソケットの隣にあります）の位置を確認します。電源スイッチがオフになっていることを確認し、付属の A C アダプタをアンプの背面に接続して付属のケーブルを A C アダプタに接続します。
2. ラウドボックスミニチャージに付属しているアダプタを、適切な A C 電圧 (100~240VAC 50 / 60Hz) のコンセントに差し込みます。
3. マスターボリュームのつまみを下げて、電源スイッチをオンにします。電源インジケータが点灯するはずですが、バッテリーが完全に充電されている場合はバッテリーインジケータが点灯し、バッテリーの充電が必要な場合はローバッテリーインジケータが点灯します。
4. 標準 1/4 インチのシールドケーブルを使用し、楽器をインストゥルメントジャックに接続します。
5. インストゥルメントチャンネルのゲインを徐々に上げます：
 - オンボードのプリアンプを搭載した楽器の場合は、ゲインつまみを 10 時頃の位置に設定します。
 - パッシブピックアップの場合は、さらに高いゲインに設定します。なかでもサウンドホール取付型のピックアップを用いた際、ゲインつまみを最大付近に設定してちょうどよくなる場合もございます。
6. マスターボリュームをゆっくりと目的のレベルに上げます。



Front Panel

1. Instrument Input

パッシブ、アクティブどちらのタイプのピックアップにも対応しています。

2. Phase

位相を切り替えることで、小さい音量の場合では低音域の広がり方を改善し、大きな音量ではフィードバックを抑制することがあります。

3. Gain

インストゥルメント入力の信号レベルを調整します。

4. Low

サウンドの低域を調整します。一般的に、小さな音量では低音を強調し、大きな音量の場合は低域をカットします。つまみを12時の位置に設定した際、回路を通らないニュートラルなサウンドになります。

5. Mid

サウンドの中域を調整します。大きな音量の場合は、カットすることでより自然なサウンドに近づくことができます。つまみを12時の位置に設定した際、回路を通らないニュートラルなサウンドになります。

6. High

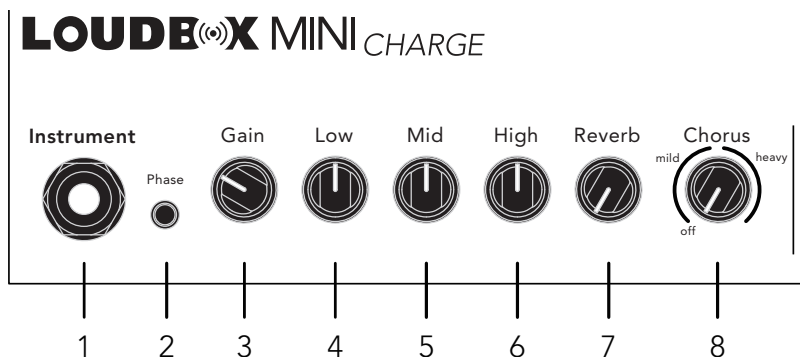
サウンドの高域を調整します。つまみを12時の位置に設定した際、回路を通らないニュートラルなサウンドになります。

7. Reverb

インストゥルメントチャンネルのリバーブ量を調整します。

8. Chorus

コーラスの深さを調整します。つまみが12時を超えるとプリセットが切り替わります。



Front Panel (cont.)

9. Mic Input

バランス、アンバランスどちらのタイプのマイクにも対応しています。アウトボードのプリアンプからこの入力に接続することも可能です。ラウドボックスミニチャージはミニP A、またはボーカルモニターとしても優れた性能を発揮します。

10. Gain

マイク入力の信号レベルを調整します。

11. Low

サウンドの低域を調整します。一般的に、小さな音量では低音を強調し、大きな音量の場合は低域をカットします。つまみを12時の位置に設定した際、回路を通らないニュートラルなサウンドになります。

12. High

サウンドの高域を調整します。つまみを12時の位置に設定した際、回路を通らないニュートラルなサウンドになります。

13. Reverb

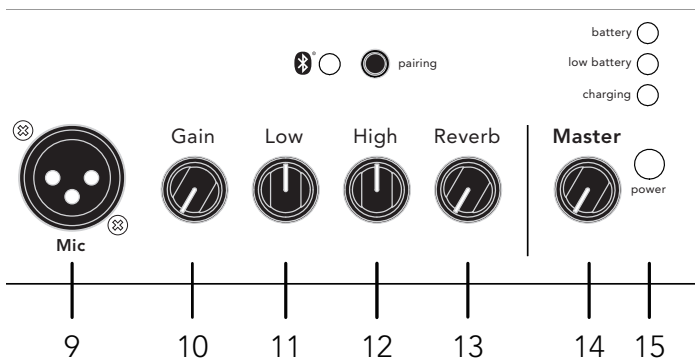
マイクチャンネルのリバーブ量を調整します。

14. Master Volume

入力されたサウンド全体の音量を調整します。一般的には、マスターボリュームをできるだけ高く、ゲインを低く設定して、最も歪みの少ないクリーンなサウンドを作ります。

15. Power

アンプの電源がオンのときに点灯します。電源スイッチはアンプ後方の電源ケーブルソケットの横にあります。



Front Panel (cont.)

16. Bluetooth® Indicator

Bluetooth® 対応デバイスとのペアリングが可能になるとインジケータが点滅します。既にペアリングをしたことのあるデバイスと再び接続が可能な状態になると、インジケータはゆっくりと点滅します。音楽を再生するとインジケータが点灯し、一時停止すると高速で点滅します。

17. Bluetooth® Pairing

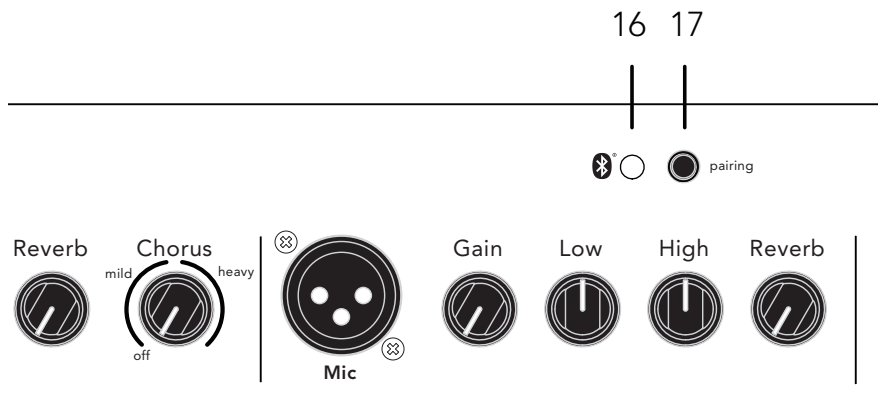
初めての Bluetooth® 対応デバイスにペアリングする際、ペアリングボタンを 5 秒以上押し続けます。上昇音が鳴り、Bluetooth® インジケータは遅い点滅から速い点滅に変わり、ペアリング準備が整ったことを示します。

Bluetooth® 対応デバイスがペアリングモードになっていることを確認します。一度ペアリングすると、インジケータが消えてアンプに音楽を流すことができます。再生中にペアリングボタンを押すと、再生が一時停止し、Bluetooth® インジケータが高速で点滅します。もう一度ボタンを押すと、再生が再開され、Bluetooth® インジケータが点灯します。

既にペアリングしたことのあるデバイスで Bluetooth® を有効にするには、ペアリングボタンを約 1～2 秒間押し続けます (5 秒未満でなければなりません)。

Bluetooth® の機能が有効になると、上昇音が鳴ります。Bluetooth® インジケータがゆっくりと点滅し、再接続の準備ができていることを知らせて、デバイスがペアリングモードになっている場合自動的に接続されます。

既にペアリングされているときに Bluetooth® をオフにするには、ボタンを 1～2 秒間押し続けます。下降音が鳴る場合、機能が無効になっていることを示し Bluetooth® インジケータはオフになります。



Front Panel (cont.)

18. Green Battery Indicator

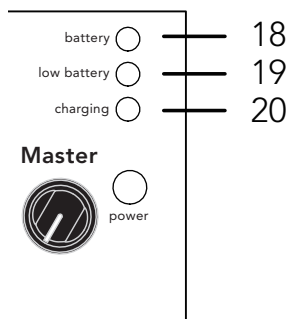
この緑色のインジケーターが点灯している場合は、バッテリーが充電されており、製品が利用可能であることを示します。

19. Red Low Battery Indicator

この赤色のインジケーターが点灯している場合、バッテリーの充電量が少ないことを示します。バッテリーの充電がアンプを駆動させるのに十分な充電量がない場合、インジケーターはすべてオフになり、アンプの電源もオフになります。この状態に入ると、A Cアダプタを差し込み、バッテリーの充電が開始されるまでアンプの電源を入れることはできません。また、充電中にアンプを使用することは可能です。

20. Yellow Charging Indicator

この黄色のインジケーターが点灯している場合、バッテリーが充電中であることを示します。これはA Cアダプタが接続され、バッテリーが充電のために外部からの電力を受け取っている状態であることを表します。バッテリーが完全に充電されると、このインジケーターはオフになります。A Cアダプタが接続されていないか、バッテリーから電源が供給されている場合、このインジケーターは消灯します。



Rear Panel

1. DC In

付属の A C アダプタと電源ケーブルを繋ぎ、A C アダプタ側のプラグを DC in に、電源ケーブル側のプラグを国内の電源に適合しているか確認し、コンセントに接続します。

DC in は製品の電源入力ですが、適切に接続されていて、かつバッテリーが満充電されていない場合はバッテリーの充電も同時に行います。つまりアンプは充電中にも使用可能です。また、電源の入っていない状態でも充電が可能です。

バッテリーの充電状況については、前面パネルのインジケータを参照してください。

2. Power switch

アンプの電源を入れる前に、マスターボリュームを下げてください。アンプが駆動可能な状態まで充電されている場合、電源スイッチを On 側に倒すことで電源が入ります。

3. Aux Input - 1/8"

この入力には M P 3 プレーヤーなどの音楽再生機器といった、ラインレベルのステレオ音源を接続します。入力はステレオですが、左右の信号はアンプ内でモノラルにミックスされます。

4. Mix D.I. (Post)

インストゥルメントチャンネル、マイクチャンネル、1/8 "Aux、Bluetooth、すべての信号をまとめたものをミキシングコンソールやスレーブアンプに送信する際に接続します。

ポスト E Q 出力。グラウンドループによるハムノイズを防ぐため、常にグランド・アイソレーションされています。



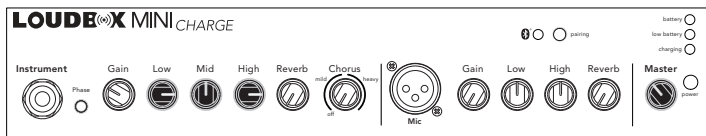
Tone Tips

Set up

トーンコントロールのつまみをすべて12時にあわせませす。この状態では、入力されたサウンドに対して何も補正はされていません。非常に小さな音量からスタートして、徐々に音量を上げていきます。求める音量に合わせて、下に示したトーンコントロールの調整を参考してみてください。

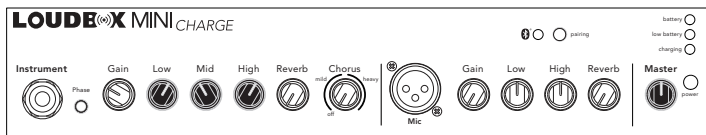
1. Low volume

小さな音量（会話より少し大きい音量）において、人間の耳は低域や高域にはあまり敏感ではないため、低域と高域を高める方へ補正します。つまみの3時方向をお試しください。



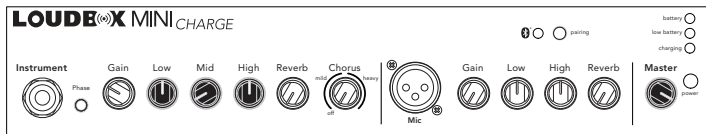
2. Medium volume

中くらいの音量（お店のBGMなどより大きい音量）において、人間の耳は中域に非常に敏感です。ミッドつまみを10時あたり、またはお好みに合わせて低める方に補正します。この音量では、低域と高域の認識が他の音域よりやや鈍い程度になるため、低域と高域を少し高めるように補正し、トーンバランスを保ちます。

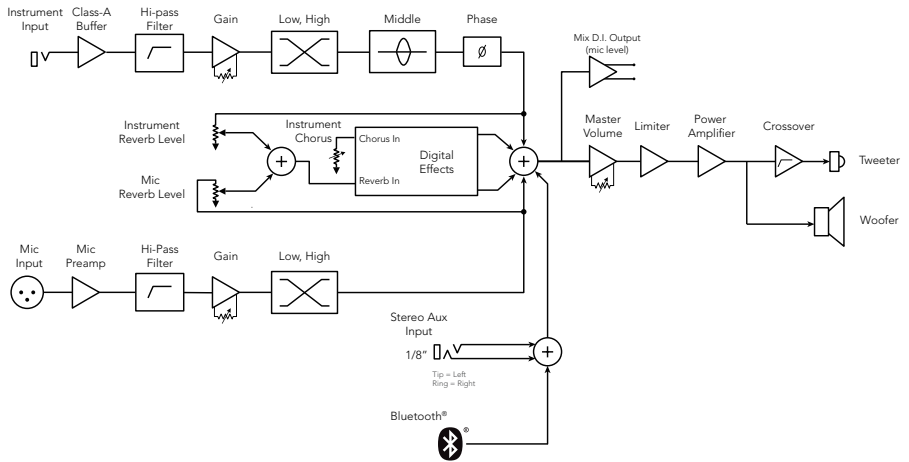


3. High volume

大きな音量においては、中域をかなり低める方に補正をかけることで、聞き取りやすくなるでしょう。ミッドつまみを9時から7時方向の間に設定します。この音量では、低域や高域に対する認識は他の音域と同程度鋭敏になるため、低域や高域の補正は必要ありません。周りの環境によってやささらに音量を上げる場合、低域を低める方に補正することもおすすめです。ローつまみを10時あたりの方向で設定してみてください。



Block Diagram



Technical Specifications

内蔵バッテリーまたは外部電源に適用される定格

Output rating:

SPL @ 1 meter	108 dB (measured)
Frequency Response	80 Hz – 20 kHz

Power rating: 60 W

Battery:

およその連続動作時間	1 8 時間 (小音量)
	1 2 時間 (中程度の音量)
	4 時間 (最大音量)
充電時間	1 0 時間

Input impedance:

Ch. 1	10 M Ω
Ch. 2	2 k Ω
Aux Input (stereo)	10 k Ω

Tone controls:

Low	± 12 dB @ 80 Hz (resonant)
Mid	± 10.5 dB @ 750 Hz (resonant)
High	± 12.5 dB @ 15 kHz (shelving)

Mix D.I. out:

Output Impedance	600 Ω balanced, mic level Phantom power tolerant
------------------	--

Speaker system:

Woofer	6.5" paper cone
Tweeter	1" soft dome
Baffle Angle	10 degrees

Physical:

Dimensions	9.7" [D] x 13.7" [W] x 12" [H] (24.7 cm x 34.9 cm x 30.5 cm)
Weight	21.2 lbs (9.6 kg)

Connectivity:

Playback	Bluetooth® 4.0
----------	----------------

製品の仕様、本書の内容に関しまして、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

【禁無断転載】

FISHMAN[®]

fishman.com

FISHMAN TRANSDUCERS 総輸入代理発売元

株式会社 黒澤楽器店